



第7号 2018年4月発行 はつかいち市民図書館



3月に新しく入った本



読んだ or 予約したら☑



「なわ縄のれんふくじゆ福寿5 えんむす縁結び蕎麦そば」

有馬美季子/著 祥伝社 2018.2
B913.67 (大野)

蕎麦が、大切な人たちと結びつけてくれた。そう料理に感謝する縄のれんの女将・お園を、かつての居候・里江が訪ねてきて…。

「おもてごばん表御版い ししんりょうろく医師診療録11 まいふく埋伏」

上田秀人/著 KADOKAWA 2018.2
BFウ (はつかいち・さいき)

御広敷番医師の矢切良衛は、大奥で將軍に出される料理の調理に携わる仲居が腹痛を起こしたと聞いて…。

「めかけや妾屋し きの四季」

上田秀人/著 幻冬舎 2018.3
BFウ (さいき)

山城屋昼兵衛、山形将左、大月新左衛門——大奥や吉原との激闘を潜り抜けた三人の、波乱の四季を描いた「妾屋 昼兵衛女帳面」外伝。

「まちぶぎょううちよりきふんとうき町奉行内与力奮闘記6 しゅう けつ雌雄の決」

上田秀人/著 幻冬舎 2018.3
BFウ (はつかいち・さいき)

江戸町奉行・曲淵甲斐守に追い詰められた町方は、怒涛の反撃に転じる。だが、切れ者甲斐守が策の応酬で負けるはずはなく…。

「しん新・けんかくたいへいき剣客太平記8 あい か哀歌」

岡本さとる/著 角川春樹事務所
2018.2 BFオ (はつかいち)

竜蔵の昔なじみが辻斬りに殺された。ときを同じく、峡道場のある芝・三田界限で不審な輩がうろついているという噂を聞いた竜蔵は…。

「よ酔いどれことうじ小藤次19 **決定版** じょうばこそうどう状箱騒動」

佐伯泰英/著 文藝春秋 2018.3
BF913.6サ (大野)

水戸へ向かった小藤次は葵の御紋が入った藩主の状箱が奪われるという事件に遭遇し…。書き下ろし終章も収録し、決定版堂々完結。



裏面へつづく！



読んだ or 予約したら☑



よしわらうらどうしんしょう しゅうりん
□「吉原裏同心抄3 秋霖やまず」

佐伯泰英/著 光文社 2018.3
BFサ (はつかいち・さいき) B913.6サ (大野)

札差の新筆頭行司がなかなか決まらず、父の跡を継いで就任を固辞する伊勢亀の当代・半右衛門の元に、不可解な企てとも取れる文が届く。

だいみょう
□「大名やくざ8」

風野真知雄/著 幻冬舎 2016.6
BFカ (はつかいち)

ついに江戸の町に戻ってきた久留米藩主・虎之助。万五郎一家を潰すために挑んだのは、相手が得意な舟いくさだった…！ シリーズ最終巻。

せいでんきん ぎん てんりゅうへん
□「あきない世傳金と銀5 転流篇」

高田郁/著 角川春樹事務所 2018.2
BFタ (はつかいち) B913.6タ5 (大野)

大坂天満の呉服商、「五鈴屋」の六代目店主の女房になった幸。夫・智蔵の理解のもと、奉公人らと心をひとつにして商いを広げていくが…。

くげむしやのぶひら に めいば
□「公家武者信平2 逃げた名馬」

佐々木裕一/著 講談社 2018.2
BFサ (はつかいち)

信平の下城中、暴れ馬が現れて町は騒然となるが、家臣・佐吉が掴まえる。馬の持ち主は弟の借金を返すために馬を売りに来たというが…。

いちまんごく むらさき ゆめ
□「おれは一万石3 紫の夢」

千野隆司/著 双葉社 2018.2
B913.6チ (大野)

井上正紀は戸川屋からの突然の借金取り立てに困惑する。戸川屋の娘は謀反を企てて切腹となった家老の妻女。復讐のにおいがするが…。

つまごいざかじょうしこう
□「妻恋坂情死行」

鳥羽亮/著 幻冬舎 2016.6
BF913.6ト (大野)

吉原に売られた娘・ふさと、吉原へ通う金欲しさに残忍な辻斬りを重ねる京四郎。生き地獄に身を沈めた二人の運命は…。

かいほん げんしよくえど
□「**改版** 幻色江戸ごよみ」

宮部みゆき/著 新潮社 2014.8
B913.6ミ (大野)

盆市で大工が拾った迷子の男の子。迷子札を頼りに家を訪ねると… (「まひごのしるべ」)。下町の人情と怪異を四季折々にたどる12編。

次回発行は
5月上旬予定
でござる

※貸出中の本は予約することができます。「予約・リクエストカード」にご記入の上、カウンターへお出してください。

